GUNMA



男女共同参画の視点から

防災ノート

～誰もが安心できる地域づくりのために～

地域拠点運営用

このリーフレットは、地域防災のリーダー的役割を担う方々が、男女の視点を取り入れた災害への備えを進めていただけるよう、群馬県女性団体連絡協議会と協働で作成しました。市町村が策定する避難所運営マニュアル等と合わせて地域防災力を高め、誰もが安心して暮らせる地域づくりのために御活用ください。

なお、作成にあたっては、下記の資料を参考としました。

○内閣府「災害対応力を強化する女性の視点～男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン～」（令和２年５月）、「避難所運営ガイドライン」（平成 28 年４月）、「男女共同参画の視点からの防災・復興の取組指針」（平成 25 年５月）

作成・発行／ぐんま男女共同参画センター
〒371-0026 群馬県前橋市大手町 1-13-12　TEL027-224-2211・FAX027-224-2214

GUNMA

１はじめに

（１）群馬県の現状

―群馬県は自然災害が少ない!?―

●これまで、「群馬県は自然災害が少ない」と信じられてきました。そのため、自然災害に対する県民の意識も低い傾向にあります。

―災害は、忘れた頃にやってくる...―

●群馬県は、６０～７０年おきに大水害が起きています。また、大地震や火山の噴火にもたびたび見舞われていますが、こうした過去の自然災害の経験が伝承されていません。

―行政が何とかしてくれるから大丈夫！―

●いざ災害が起きても「行政が何とかしてくれるから大丈夫」という行政への依存心も極めて高い状態にあります。災害への備えは「自助・共助・公助」を基本に自発的に取り組みましょう。

「自助・共助・公助」とは

○自助：自分の身は自分で守る
○共助：地域みんなで助け合う
○公助：公的機関による救助・援助

「安全神話」から、真の「安全・安心」へ



令和元年１０月に猛威を振るった台風 19 号への備えは、万全でしたか？
いつ地震・台風・大雨が襲ってきても大丈夫ですか？
備えがなくては、安全・安心は得られません。
身近な地域や生活レベルで災害への備えを振り返り、
オール群馬で防災力を底上げしていきましょう。



令和元年　台風被害（富岡市）





平成 28 年　熊本地震

２平常時から災害に備える

（１）男女共同参画の視点の必要性

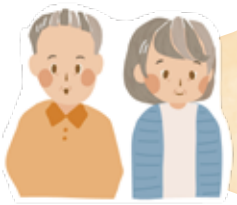


―男性･女性･多様な視点がなぜ必要か―

・過去の災害において、避難所等の現場で、男性を中心とした運営の結果、**男女のニーズの違い**に気付かずに、男女とも困難に遭遇したとの報告がありました。
・一方、**男女がともに協力し合い**コミュニケーションがとれた避難所では、円滑な運営ができたという報告もあります。

（２）女性の参画を進めるために具体的に何をするの？

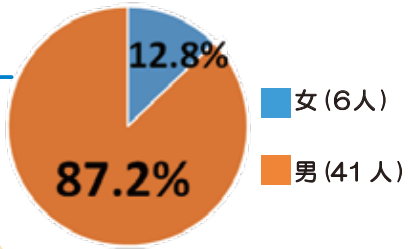
①女性参画の現状は？



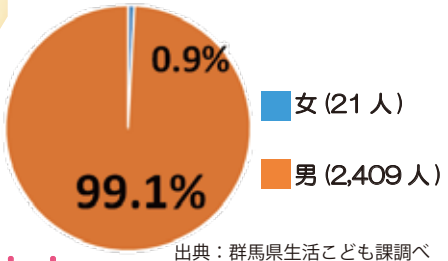
―県の防災分野等における参画状況！―

・**県防災会議**における女性委員の割合は、
12.8%（6/47 人：全国 26 位）
・**自治会長**の女性の占める割合は、
0.9%（21/2,430 人：全国最下位）
防災対策に必要な意思決定過程に女性の参画が十分確保されていません。

県防災会議における女性委員の割合



県自治会における女性自治会長の割合



出典：群馬県生活こども課調べ（H31.4）

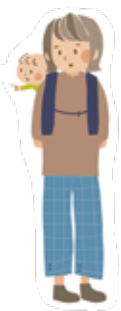
②男性も女性も一緒に平時から防災対策の準備を！！

地域のみんなが参画する防災訓練を定期的に実施すると、イメージしやすい！女性、子ども、若者が参加しやすい工夫を！

そのために自治会などの地域活動に関わる女性を普段から意識して増やしておくことが大切‼

―日常から、地域で・家庭で男女共同参画を！―

・災害時には、災害が起きる前の日常が反映される傾向があることがわかってきました。
・そのため、①日常から、**女性をはじめ様々な立場の人の人権を守る**、②地域防災計画や避難所運営マニュアル作成などの**各準備段階から、男女がともに参画する**ことが必要です。
・**女性は、防災・復興の「主体的担い手」**との意識を広めていくことが大切です。











3 避難所運営で気をつけたいこと



避難所では、限られたスペースで多くの人が生活しなければなりません。平時から避難所の設置や運営方法について、地域でシミュレーションして置くことが大切です。

■運営のチェックポイント

運営体制
□管理責任者には男女両方を配置しているか
□役割分担は男女に偏りはないか （※性別･年齢が偏らないように留意）
□多様な立場の代表が班の編成メンバーになっているか
・介護、介助が必要な人・PTA・障害者・中学生、高校生・地域リーダー
・乳幼児がいる家庭の人・外国人・行政・男女共同参画センター



運営ルール
□避難者による食事作り･片付け･清掃等の負担が、特定の性別や立場の人に偏っていないか
□男女両方の物資担当者を配置（女性用品などの配布方法の工夫）



■避難所開設のチェックポイント

□プライバシーの確保　　□要配慮者への配慮
□トイレ等の配慮　　□入浴施設への配慮



■人権・安全のチェックポイント

□女性や子どもの安全への配慮
□いろいろなニーズへの配慮

■参考：役割分担の例

役割分担【例】			
総務班	・避難所生活のルール ・行政との連絡調整 ・苦情処理	**名簿班**	・避難者名簿作成、管理
		食糧・給水班	・食糧、飲料水の確保 ・炊き出しの実施
情報広報班	・避難者への情報伝達 ・避難者の呼び出し ・問い合わせ対応	**物資管理班**	・物資の調達、管理、配布
		生活環境班	・トイレの確保、ゴミの処理 ・衛生対策・防犯対策
救護班	・救護、介護の実施 ・避難者の健康管理	**ボランティア管理班**	・ボランティアの管理、調整

避難所レイアウト例

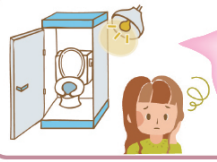


❶次受付
受付にて感染症対策





発熱者・濃厚接触者、要援護者、
・乳幼児のいる家庭、
・介護が必要な方がいる家庭、
など別室が望ましい



・足が悪くて和式便座が使えなかった…
・トイレが汚れていた
・トイレが外で夜間怖かった



・女性や子どもが夜間でも安全・安心な場所に設置
・設置数は男女比 1:3 となるよう設置

トイレ（女性用）　多目的トイレ　トイレ（男性用）



男性専用物干場

総合受付
受付簿の管理、情報伝達



意見箱

だれもが意見を出せる意見箱の設置

物資



物資受付



（女性用物資）

・物資配布担当者は男女ともに配置
・必要な物資も、同性の方が伝えやすい
・特に女性特有の物資（例：生理用ナプキン、下着など）

高齢者用おむつ替え（男性用）

男性きがえ



❷出入口 次受付



定期的に看護師や保健師の巡回を‼



炊き出しスペース

物資置場



情報掲示板

・外国人に配慮し、やさしい日本語で記載
・視覚・聴覚障害者にも配慮

居住スペース

通路や仕切りでプライバシー確保

居住スペース



◎単身女性・女性のみ世帯などは分けるよう配慮

居住スペース

居住スペース

ふれあいスペース

外から見えないよう仕切る





外から洗濯物が見えないと安心できる

女性専用物干場（囲い）



医師・保健師等待機所

女性きがえ



授乳室（女性のみ）



おむつ替え（男女共用）



子ども遊び室 学習室

高齢者用**おむつ替え（女性用）**



ペット



ケージで預かれるよう日頃から訓練しているとよい

避難所で実際にあったことです‼

「男性が配ったり、周りに男性がたくさんいる中で支援物資の生理用品を受け取りに行くのが恥ずかしかった」



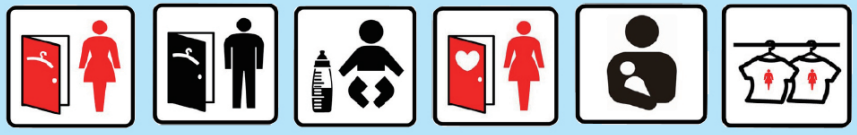
「子どもが夜泣きしたら「うるさい」と怒鳴られた…」

「夜中寝返りをうったら隣にまったく知らない人が寝ていた」



「男女共同参画の視点からの防災研修」基本教材（内閣府男女共同参画局）から抜粋等

部屋札用ピクトグラム例



女性更衣室　男性更衣室　授乳室　女性用スペース　赤ちゃん部屋　物干し場（女性用）

災害用伝言ダイヤル



はじめに 171 をダイヤルする
→ 録音は 1 をダイヤル / 再生は 2 をダイヤル
→ 連絡をとりたい電話番号（市外局番からダイヤル）
→ 伝言を録音（30 秒以内） / 伝言を聞く

避難所チェックシート

■避難所の開設･運営においては、男女のニーズの違いや子育て家庭等のニーズに配慮することが必要です。
■男性・女性、子ども・若者・高齢者、障害者等の多様な主体の意見を踏まえた避難所運営を行うため、管理責任者や自治的な運営組織の役員には男女両方が参画します。

		チェック
プライバシー	間仕切り･パーテーションがあり、その高さや大きさなどが、プライバシーの保護の観点から十分である	
	男女別更衣室、男女別休養スペースが離れた場所にある	
	男女別洗濯物干場がある	
	授乳室（椅子、授乳用の枕やクッション、おむつ替えスペース）がある	
要配慮者	適切な通路が確保され、段差が解消されている	
	乳幼児のいる家庭用エリアがある	
	介護・介助が必要な人のためのエリアがある	
	単身女性や女性のみの世帯用エリアがある	
	女性専用スペース（女性用品の配置・女性相談）がある	
	キッズスペース （子どもたちの遊び場・勉強・情報提供）や保育エリアがある	
	足腰が悪い人のための寝具（段ボールベッドなど）が提供されている	
トイレ	安全で行きやすい場所に設置されている	
	女性トイレと男性トイレは離れた場所にある	
	女性トイレ：女性用品・防犯ブザーの配置、仮設トイレは女性用を多め	
	男性トイレ：尿取りパットなどの配置	
	多目的トイレが設置されている	
	洋式トイレが設置されている	
	屋外トイレは暗がりにならない場所に設置されている	
	トイレの個室内、トイレまでの経路に夜間照明が設置されている	
	トイレにカギがある	
入浴施設	安全で可能な限りバリアフリーに対応した入浴施設がある	
	男女問わず一人で（または付き添いを受けながら）入浴できる施設がある	
安全	避難所の危険箇所や死角となる場所の把握・立入制限がされている	
	間仕切り・パーテーションが高い場合は個室の定期確認がされている	
その他	各部屋に部屋札（ピクトグラム、やさしい日本語）が設置されている	
	掲示板による情報提供（インターネットが使用できない人・情報が届きにくい人向け）がされている	

備蓄チェックシート

備蓄の品目や数量について、女性と男性のニーズの違い、妊産婦や子育て家庭のニーズに配慮することが必要です。品目や数量については、当事者である女性が参画して検討してください。

		チェック
女性用品	生理用ナプキン（普通、長時間向けなど）	
	おりものシート	
	サニタリーショーツ	
	防犯ブザー／ホイッスル	
	中身が見えないゴミ袋	
	女性用下着（各種サイズ）	
	女児用下着（発達段階ごとに適したサイズ、形態のもの）	
妊産婦	妊産婦用下着	
	妊産婦用衣類	
	母乳パッド	
赤ちゃん用品	粉ミルク（アレルギー用も）or液体ミルク	
	枕やクッション（授乳室ごとに数個）、授乳用ケープ・バスタオルなど（ストールも可）	
	乳幼児用飲料水（軟水）	
	哺乳瓶・人工乳首（ニップル）・コップ（コップ授乳用に使い捨て紙コップも可）・消毒剤・洗剤・洗浄ブラシなどの器具、割りばし	
	湯沸かし器具・煮沸用なべ（食用と別にする）	
	離乳食（アレルギー対応食も）	

		チェック
赤ちゃん用品	皿・スプーン	
	乳幼児用紙おむつ（各種サイズ、女児用、男児用）、おむつ用ビニール袋	
	おしりふき	
介護用品	大人用紙おむつ（各種サイズ、女性用、男性用）、おむつ用ビニール袋	
	尿取りパッド（女性用、男性用）	
	おしりふき	
	介護食（おかゆ、とろみ食、とろみ剤）	
	簡易トイレ・据置式洋式トイレ	
	防犯ブザー／ナースコール	
	義歯洗浄剤	
外国人	スプーン・フォーク	
	ストール	
	宗教上の理由に関わらず食べられる食べ物	
その他	プライバシーが十分に保護される間仕切り・パーテーション	
	足腰が悪い人のための寝具（段ボールベッドなど）	

※必要な物は人それぞれ違います。各避難所の備蓄品に必要な物が全て揃っていないこともあります。
自分や家族に必要な物は日頃から準備するよう地域住民に呼びかけておきましょう！

参考：備えの例

